

① 研究課題：

RAS 野生型大腸癌における、HER2 score と抗 EGFR 抗体薬による治療効果との関連性に関する多施設共同後ろ向き観察研究

② 実施期間（〇〇年〇〇月〇〇日まで）：

2028	年	3	月	31	日まで
------	---	---	---	----	-----

③ 研究機関：

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学 病態病理学
関西労災病院 消化器内科 責任者；山口真二郎
市立豊中病院 消化器内科 責任者；山本政司
大阪労災病院 消化器内科 責任者；山田拓哉
大阪警察病院 消化器内科 責任者；飯島英樹
大阪医療センター 消化器内科 責任者；阪森亮太郎
市立伊丹病院 消化器内科 責任者；村山洋子
県立西宮病院 消化器内科 責任者；飯尾禎元

④ 主任研究者：

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学 教授 小玉尚宏

⑤ 研究目的：

本研究では、RAS 野生型左側大腸（下行結腸～直腸）癌に対して行われた抗 EGFR 抗体薬の治療成績と HER2 score の関連性を明らかにします。

⑥ 対象：（目標症例数があればそれも含めて書いて下さい）

2021 年 1 月より 2024 年 12 月までに、切除不能・進行再発大腸癌に対して、一次化学療法として抗 EGFR 抗体薬を含む化学療法が行われた方（全体で 100 名を予定しています）

⑦ 研究方法：

大阪大学関連施設において、大腸癌の生検または切除標本（診療時の余剰検体）と臨床情報（診断、検査、治療、予後などの情報）を用いて HER2 score と抗 EGFR 抗体薬有効性の関係を後ろ向きに検討します。

⑧ 利用する者の範囲：

大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学および関西労災病院消化器内科

⑨ 利用又は提供を開始する予定日：

2026 年 3 月

⑩ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称：

大阪大学消化器内科学 林義人

⑪ プライバシーの保護：

プライバシー確保のため、患者さんが特定できないようにデータを処理した上で研究解析を行います。また、研究結果を公表する際には、患者さん個人が特定されることはありません。ご自身のデータを使ってほしくないとお考えの場合は、下記にご連絡ください。

⑫ 本研究に関する問い合わせ先：

大阪大学消化器内科学 林義人

連絡先電話番号:大阪大学消化器内科学（06-6879-3621）